

令和 8 年度

一般選抜 A 日程 (2/3)

日本史

出題意図

I	古墳時代中期・後期に関して、東アジアという地理的文脈の中で捉えつつ、①正確な知識を理解・習得しているか、②習得した知識と提示された情報を関連付けて考察できるか、③出来事の因果関係を論理的に整理し、体系的に理解できているかを問うものである。
II	近世の経済活動に焦点を当てた問題を作成。日本の近代化が比較的スムーズに進んだ背景には、近世における経済・文化の発展があったことを念頭に置いた作問であり、全体の構成として各々の歴史事象の意味を長いスパンで理解しているか否かを問うた問題である。
III	開国から明治維新に至るまでの時期を対象として、①外国との関係を正確に把握しているか、②外国との関係が国内での派閥形成や倒幕運動に与えた影響を認識しているか、③国内における勤王派と佐幕派の複雑な関係と動向を理解しているか、を問うことで、外国勢力が国内政治にも強く影響することを理解できているかを問うた。